

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目（該当する分野、種目を選択してください。）

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分（申請する区分を選択してください。）

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無（該当する方を選択してください。）

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当するものを選択してください。）

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。（グレーアウトされます。）

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいいしゃあらうまざ		
	株式会社荒馬座		
代表者職・氏名	代表取締役 金子満里		
制作団体所在地	〒 174-0053		
	東京都板橋区清水町81-4		
電話番号	03-3962-5942	FAX番号	03-3962-5021
ふりがな 公演団体名	みんぞくかぶだんあらうまざ		
	民族歌舞団荒馬座		
代表者職・氏名	代表 金子満里		
公演団体所在地	〒 174-0053		
	東京都板橋区清水町81-4		
制作団体 設立年月	1970年 7月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 金子満里 取締役 金沢真美 取締役 岡宏司 監査役 狩野猛	団体構成員 15名 太鼓・民舞・和楽器等の演奏・演舞の力量を持つ健康な男女	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	岡宏司
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	富澤恵理子

制作団体沿革	1966年9月設立。1970年法人格取得。 1974年学校鑑賞教室公演開始。以降2020年まで30作品以上の民族芸能集作品を学校鑑賞教室・芸術鑑賞会で上演。 1978年以降、学校の先生を対象とした太鼓民舞教室開催。以来2020年まで延べ約41,000名の学校の先生・保育士を中心に太鼓民舞を普及する。 1986年 東京都新島村『式根島大漁祝い太鼓』作調／1987年 福島県会津若松市『会津鶴ヶ城太鼓』作調 1991年 長野県生坂村『生坂龍翔太鼓』作調／1992年 三重県いなべ市(旧大安町)『大安寿太鼓』作調 1993年 日中国交正常化二十周年イベント・中国北京公演 1993年 鑑賞教室作品『どっこいふるさと生きている』厚生省中央児童福祉審議会特別推薦指定 1995年 鑑賞教室作品『風のまつりー夢は野を越え山越えて』厚生大臣賞受賞 ※以下「別添」あり			
学校等における公演実績	・1974年より首都圏を中心に小学校鑑賞教室、中学校・高校の芸術鑑賞会を幅広くおこなう。1990年から2020年の間に首都圏の約1,700校(延べ数)の小学校の鑑賞教室でさまざまな構成の民族芸能集作品を上演。 ・中学校・高校の芸術鑑賞会でも、学校の体育館や地域のホールなどを会場に、さまざまな構成の民族芸能集作品を首都圏各地の学校で上演。 ・公演と併せ「体験学習」「伝統文化体験学習」「オリンピック・パラリンピック教育文化プログラム」としての太鼓民舞体験のワークショップ、また高校の沖縄修学旅行の事前学習としての「エイサー」体験ワークショップなども幅広く実施している。 ※2017～20年度小学校鑑賞教室公演92校(文化庁「巡回公演」以外)			
特別支援学校における公演実績	・1990年から2020年の間に首都圏の約160校(延べ数)の特別支援学校の鑑賞教室でさまざまな構成の民族芸能集作品を上演。 ・公演と併せて太鼓民舞体験のワークショップも伝統文化体験プログラムやオリンピック・パラリンピック教育文化プログラムなど、多くの体験学習プログラムを用意し幅広く実施している。 ・先生対象の太鼓民舞の講習会もさまざまにおこなっている。 ※2017～2020年度特別支援学校鑑賞教室公演25校(文化庁「巡回公演」以外)			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	無	
		※公開資料有の場合URL	-	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	なし
			PW:	なし
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
			PW:	

【公演団体名】 民族歌舞団荒馬座

対象	○	小学生(低学年)	-		中学生
	○	小学生(中学年)			
	○	小学生(高学年)			
企画名	荒馬座民族芸能集『ふるさとまつり四季彩々ー春夏秋冬おまつりをしてはたらいて』				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	ふるさとまつり四季彩々ー春夏秋冬おまつりをしてはたらいて 作/構成/演出/振付 金子満里(民族歌舞団荒馬座) 				

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		3	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～11時	13時～14時10分	10分	14時10分～ 16時30分	16時30分
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	1単位あたり50名程度				
	本公演	200名程度まで				
ワークショップ 実施形態及び内容	和太鼓・ソーラン節体験 ・和太鼓の基本、バチの持ち方・構え方から、和太鼓の基本リズム、かんたんなお囃子など ・「ソーラン節」の基本の振り ・本公演に向けて「ソーラン節」の伴奏の太鼓など					
ワークショップ 実施形態の意図	・日常的にふれる機会は多くはない和楽器の中でも、短い時間で音が出てかんたんな曲が演奏できる和太鼓の体験をすることで、和楽器・日本の伝統文化に親しんでもらい、本公演へと興味をつなげたい。 ・本公演で取り上げるの演目「ソーラン節」の基本の振りを踊り、伴奏の太鼓を体験することで、観客も公演に参加して、とともに公演を創るという意識付けも図りたい。 ・児童生徒の代表に本公演で「ソーラン節」の太鼓の伴奏をしてもらう。					
特別支援学校での 実施における工夫点	・ワークショップの時間内に、大太鼓、小太鼓等にふれる時間をなるべく多く確保するために、楽器はある程度の数を用意する。学校に和太鼓があれば加えて使わせてもらう。 ・和太鼓の基本から、リズム遊びなど、自然にノれるものから興味を持たせながら、かんたんなお囃子まで仕上げていく。 ・太鼓の大きな音に拒否反応を示す児童生徒以外には特に問題なく実施できる					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.1	【公演団体名 民族歌舞団荒馬座 】
制作団体沿革	1966年9月設立。1970年法人格取得。 1974年学校鑑賞教室公演開始。以降2020年まで30作品以上の民族芸能集作品を学校鑑賞教室・芸術鑑賞会で上演。 1978年以降、学校の先生を対象とした太鼓民舞教室開催。以来2020年まで延べ約41,000名の学校の先生・保育士を中心に太鼓民舞を普及する。 1986年 東京都新島村『式根島大漁祝い太鼓』作調／1987年 福島県会津若松市『会津鶴ヶ城太鼓』作調 1991年 長野県生坂村『生坂龍翔太鼓』作調／1992年 三重県いなべ市(旧大安町)『大安寿太鼓』作調 1993年 日中国交正常化二十周年イベント・中国北京公演 1993年 鑑賞教室作品『どっこいふるさと生きている』厚生省中央児童福祉審議会特別推薦指定 1995年 鑑賞教室作品『風のまつりー夢は野を越え山越えて』厚生大臣賞受賞 1995年 埼玉県児玉郡神川町『神川豊穰ばやし』作調 1995年 ベトナム親善公演(ハノイ・北部山岳地帯17ステージ) 1999年 鑑賞教室作品『母里のまつり森の詩』厚労省中央児童福祉審議会特別推薦指定 2005年 鑑賞教室作品『大地のまつり水のうた』・『みんなでわっしょいふるさとの四季』厚労省中央児童福祉審議会特別推薦指定 2006年 パラグアイ親善公演(日本人移民70周年記念) 2008年 ブラジル親善公演(日本人移民百周年記念)国際交流基金助成事業 2009年 鑑賞教室作品『楽一明日への息吹』厚労省中央児童福祉文化賞特別推薦指定 2010年 鑑賞教室作品『明日へのまつり』・『みんなでわっしょいふるさとの四季』厚労省中央児童福祉文化賞特別推薦指定 2019年 鑑賞教室作品『実り祈り命のまつり』厚労省社会保障審議会児童福祉文化財「特別推薦作品」「児童福祉文化賞推薦作品」	

ふるさとまつり四季彩々

春 夏 秋 冬 おまつりをして はたらいて

家内帯全

春

獅子舞
春告魚
(ソーラン節のはじまり)
春まつりの水口囃子



夏

商売繁盛

沖縄の七夕まつり
豊年おどり
エイサー



秋

豊年摘作

豊年さんさ
言い伝え



冬

厄除厄払

冬まつり
秩父のお囃子

わたしたちのふるさと日本は、春夏秋冬の四つの季節がはっきりとして、その季節ごとにおまつりがあります。
家族のみんなが健康でありますようにと願い、節供やお祭りをして楽しんできました。
そんなわたしたちのふるさとの一年を、唄と踊りと太鼓のお囃子でめぐってみましょう！
ここは必ずふるさとのおまつり、お囃子を楽しんで下さい！

民族歌舞団

荒馬座

〒174-0053 東京都板橋区清水町81-4
TEL.03-3962-5942 FAX.03-3962-5021

E-mail arauma@araumaza.co.jp
URL <http://www.araumaza.co.jp/>

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	J131	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	J	区分	A区分
公演団体名	民族歌舞団荒馬座				制作団体名	株式会社 荒馬座			

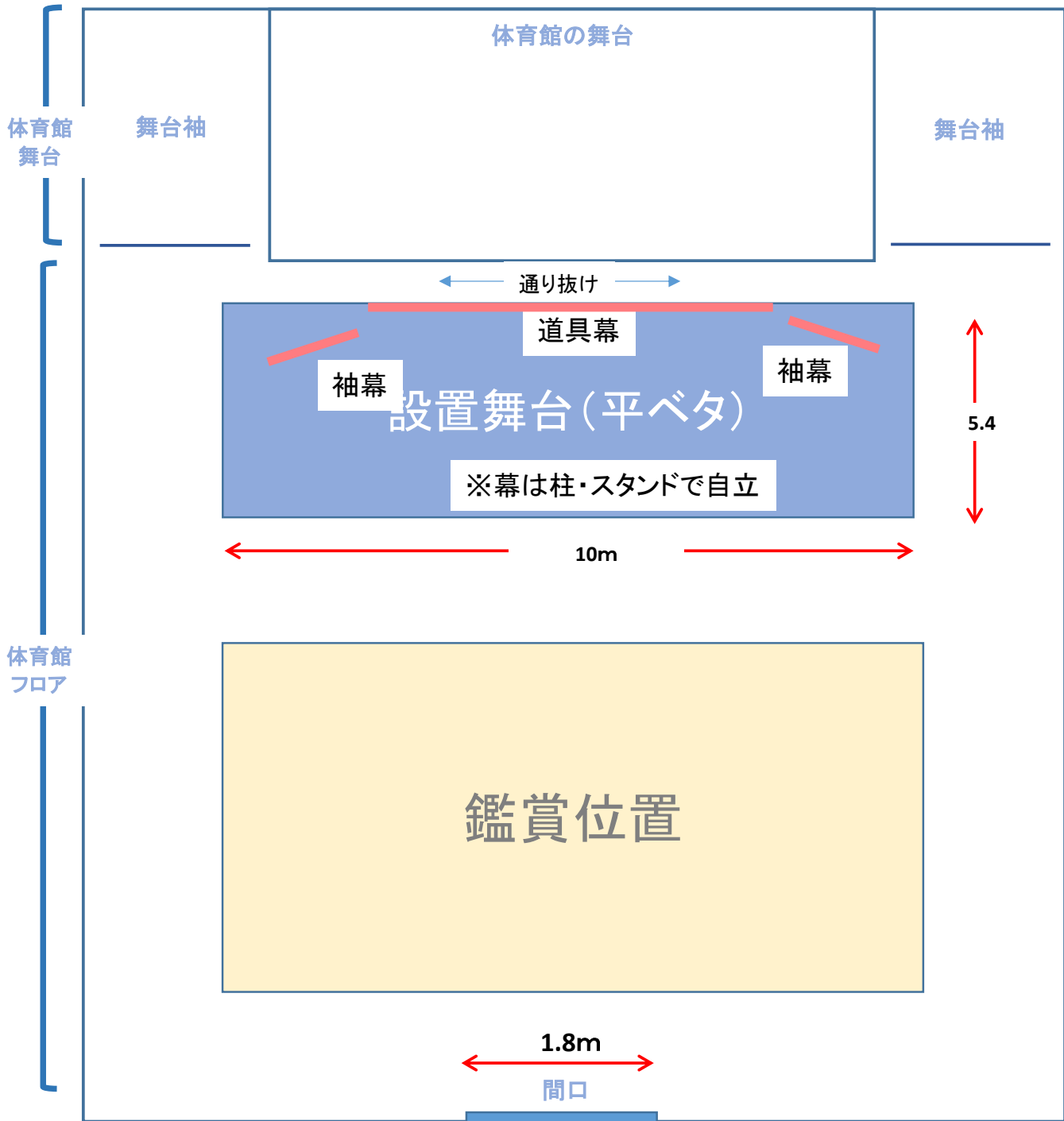
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	1室	条件	軽食・昼食を取るために使用します				可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台			—
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			普通バン(幅1.7m×長さ4.5m×高さ2m)				—
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				可
	搬入経路の最低条件			屋根付きの通路があることが望ましい				可
	理由			道具が防水されていないため、雨天時は雨を避けられる場所経路から搬入するため				
	設置階の制限 *			問わない				可
	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m	高さ	1.8m		可	
	WSIについて	参加可能人数	1単位当たり50名程度					可
学年の指定の有無 *		あり	指定学年 *	高学年	中学年		可	
所要時間の目安 単位:分		45分(1校時)					可	
会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
本公演について	鑑賞可能人数			200名				可
	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	10m	奥行	5.4m	高さ	3.5m	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要			可
		舞台袖スペースの条件 *			スペースがあれば可			可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		可
	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	基本的に扉・窓開放するため		可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				可
		ピアノの事前調律 *	不要				可	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量			60A	※主幹電源の必要容量			可
	その他特記事項							応相談
	ピアノの移動は、舞台使用の場合のみ、舞台袖が舞台端に移動(可能であればこちらでやります)							—
「舞台設置に必要な広さ」の「高さ」は舞台上から天井までの高さ								

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



- ・横付けできる場合は体育館横入口などからの搬入可
- ・横付けできない場合、体育館とつながっている渡り廊下・昇降口等からも搬入可
- ・雨天の場合は、雨を避けられる所からの搬入が望ましい

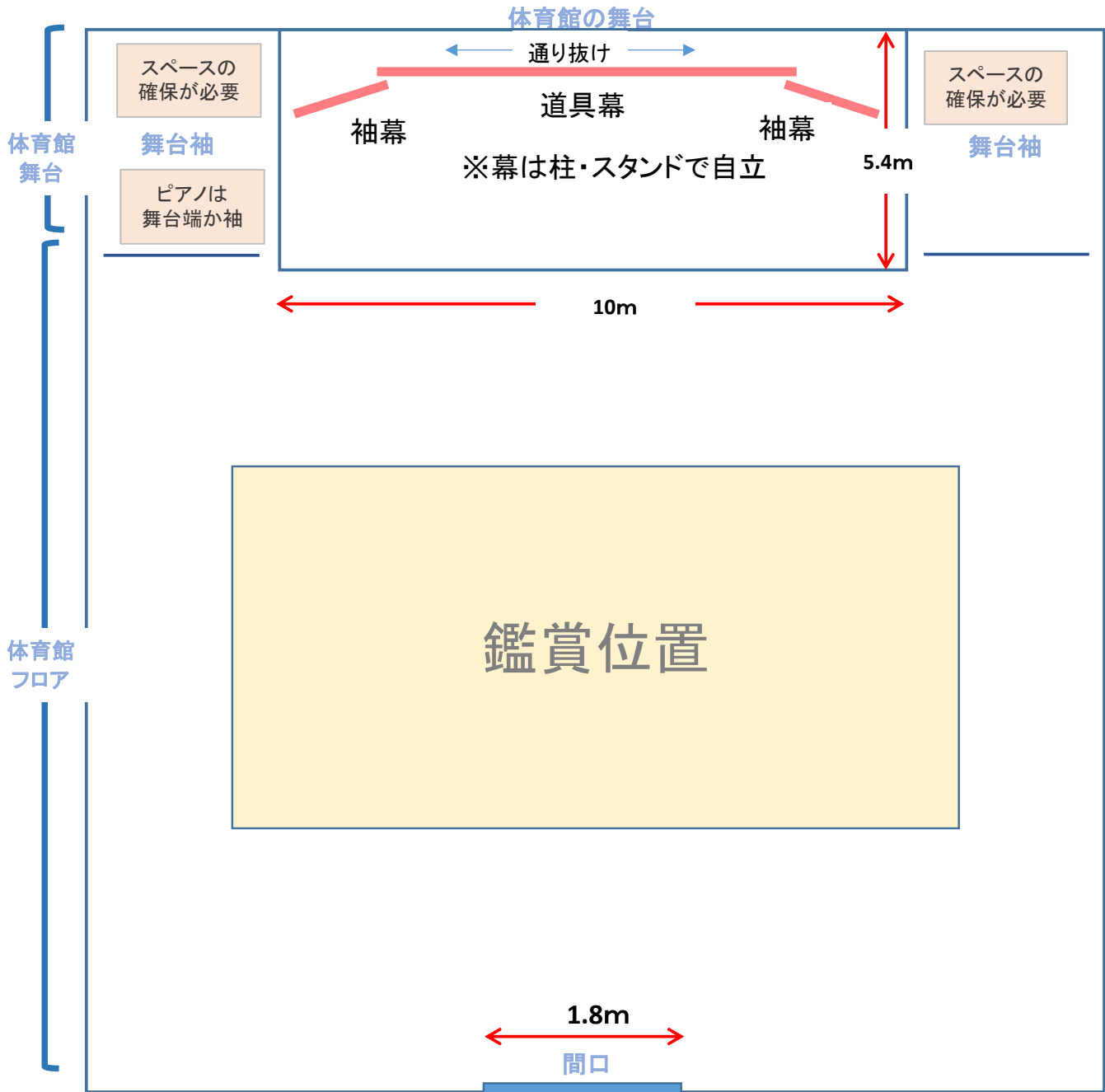
後方
ワゴン
車

フロア使用時

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



- ・横付けできる場合は体育館横入口などからの搬入可
- ・横付けできない場合、体育館とつながっている渡り廊下・昇降口等から搬入可
- ・雨天の場合は、雨を避けられる所からの搬入が望ましい

後方

ワゴン車

舞台使用時